

東みよし町では、『教育推進会議学校運営部会』を設置し、働き方改革を推進しています。町内各小中学校の業務改善に関する課題や効果的な取組について共有し、今後の方針について議論しています。

事務局は「令和7年度業務改善伴走支援事業」を活用している三庄小学校

「(株)先生の幸せ研究所」のコンサルタントによる「業務改善校内ワークショップ」



学校における働き方改革の最大の目的である、「働きやすさ」と「働きがい」の両立を実現するため、『創造的余白』を生み出す業務改善のアイデアについて、参加者全員で考えました。

【各校の取組と課題を共有】

このようなお悩みには、「業務改善校内ワークショップ」の実施をお勧めします！

【取組】

- 日課表の見直しによる年間を通じた下校時刻の繰上げ
- 学期始め・終わりの1週間は5時間授業（下校時刻繰上げ）
- 始業前の運動場開放中止と児童玄関の解錠時刻の遵守
- テスト期間は交代で年休を取得
- Googleチャットを用いた情報共有
- Googleクラスルームを用いた学校日誌と週案の統一化・完全デジタル化

【課題】

- 業務改善の各取組についての、**全教職員との合意形成**
- 授業準備、生徒指導、部活動など、**恒常的に校務が多く、どれも必要**
- 勤務時間短縮の自校努力には**限界がある**
- 部活動終了後に教材研究をすることで、退勤時間が遅くなる
- 参集型の出張・研修が多いため、**参加者・所属校双方が負担**

今後の取組

「休憩時間の分割付与」について

教員は、給食指導や休み時間の見守り等の業務で「昼休憩」がとりにくい

現状の「1時間」または「45分」の休憩時間を、「授業の空きコマ」や「放課後」などに分割して、個別教員ごとに設定することが可能（管理職は一覧で把握）

東みよし町教育委員会のサポート  
○学校からの要望への迅速な対応  
○学校の頑張りや町民に届け、一丸となった協力体制を構築

- 教職員の休憩時間の確保
- 日課表・授業時数の更なる見直し
- 「勤務開始時刻」と「児童の活動開始時刻」との整合性を確保
- 部活動の地域展開の促進
- 保護者アンケートのクラウド化
- 地域との交流学習を整理  
※教育課程と照らし合わせ
- チーム担任制の導入